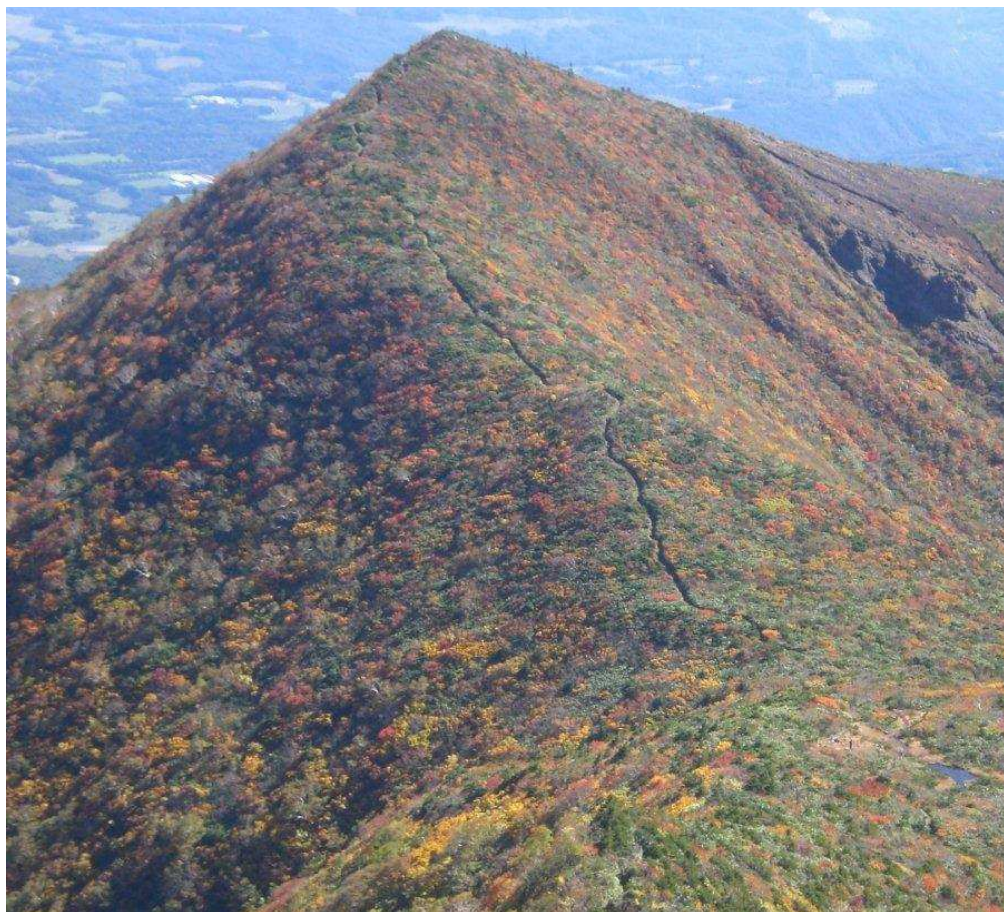


# 西大和つうしん

2012年 11月号

No. 365



南蔵王、屏風岳南尾根から水引入道・  
馬ノ神岳方面を望む 10月14日・例会山行

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第365号(2012年11月号)

## 【目次】

11月度山行計画(+12月度予告).....	1
11月度・12月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
<b>山行報告</b>	
例会山行1 《9月22～23日》 但馬の山 鉢伏山・氷ノ山(亀高).....	4
例会山行2 《10月7日》 大峰の山 笠捨山(内田).....	6
例会山行1 《10月12～15日》 東北の山 栗駒山・蔵王連峰(勝尾).....	7
例会山行1 《10月21日》 大峰の山 大普賢岳(藤本).....	10
室内例会だより.....	12

## 11月度山行計画

～アルペン気分が満喫できる霧岩の山～

◆11月11日(日): 例会山行1◆丹波の山《白髭岳～松尾山》(L: 田中初)

【集合】07:00 上牧町役場前駐車場

【コース】住山登山口案内板～(40)～銀鉾堀跡登山口～(60)～▲白髭岳 721.8m～(50)～  
▲松尾山 687m～(60)～住山登山口案内板 【歩行時間:3時間30分】

～紅葉の季節に山の辺の道を巡り、大神神社のご神体三輪山へ登る～

◆11月18日(日): 公開山行◆奈良中部《山の辺の道・三輪山》(L: 林)

【集合】09:30 JR桜井線・長柄駅

【コース】長柄駅(9:45)～菅生環濠集落(10:00)～長岳寺(10:50)～桧原神社(11:45/12:30)  
～▲三輪山山頂 466.8m(13:45)～大神神社(14:40)～海石榴市観音(15:00)～J  
R・近鉄桜井駅で解散(15:30) 【歩行距離:約12km / 歩行時間:6時間】

※降水確率50%以上の場合は中止します。

～葉を落とし明るくなった登山道が迎えてくれます～

◆11月25日(日): 例会山行1◆大峰の山《行者還岳》1546.5m(L: 村田)

【集合・出発】06:30 上牧町役場前駐車場

【コース】行者還トンネル東口P～一ノ峠～行者還小屋～一ノ峠～行者還トンネル東口P

【行程時間(休憩含む):6時間】

※帰路入浴の予定

## 12月度予告

～高畑山で360度の展望を楽しみましょう～

◆12月2日(日): 例会山行1◆鈴鹿の山《高畑山～那須ヶ原山》(L: 田中悦)

【集合】07:00 上牧町役場前駐車場

【コース】鈴鹿峠～(60min)～ナイフリッジ～(30)～高畑山～(30)～溝干山～(15)～坂下峠  
～(40)～唐木山～(60)～那須ヶ原山～(45)～参詣橋 【歩行時間:4時間40分】

# 西大和山の会 カレンダー

11 月		12 月	
1	木	1	土
2	金	2	日 例会山行 高畑山・那須ヶ原山(田中悦)
3	土	3	月
4	日	4	火 県連理事会
5	月	5	水
6	火 県連理事会	6	木
7	水	7	金
8	木	8	土
9	金	9	日 例会山行 大天井ヶ岳(多賀)
10	土	10	月
11	日 例会山行 白髭岳(田中初)	11	火
12	月	12	水
13	火	13	木
14	水	14	金
15	木	15	土
16	金	16	日 例会山行 比良釈迦ヶ岳(藤井)
17	土	17	月
18	日 公開山行 山の辺の道・三輪山(林)	18	火
19	月	19	水 『西大和つうしん』原稿締切
20	火	20	木
21	水 『西大和つうしん』原稿締切	21	金
22	木	22	土
23	金	23	日 室内例会・忘年会
24	土	24	月
25	日 例会山行 行者還岳(村田)	25	火
26	月	26	水
27	火	27	木
28	水 室内例会	28	金
29	木	29	土
30	金	30	日
		31	月

## 山行・行事等参加メモ

50 音 順		10/31 室内 例会	11/11 白髭 岳	11/18 山の辺 の道	11/25 行者 還岳	自主山行 11/4 仙ヶ岳			
1	石田								
2	今井								
3	内田								
4	勝尾								
5	亀高								
6	窪田								
7	阪口								
8	島崎					L			
9	杉川								
10	杉村								
11	多賀								
12	高田								
13	高橋								
14	武本								
15	田中悦								
16	田中初		L						
17	玉越								
18	塚本								
19	辻								
20	都築								
21	橋本								
22	林			L					
23	藤井								
24	藤本								
25	松浪								
26	的場								
27	三島								
28	村田				L				
	合計								

例会山行1

但馬の山 《鉢伏山・氷ノ山》

【日程】2012年9月22日(土)～23日(日)

【参加者】L多賀・SL辻・島崎・林・藤本・杉村・勝尾・内田・村田・  
的場・杉川・高田・亀高(13名)

【コースタイム】

★9/22 王寺駅6:30 // ハチ高原交流センター駐車場11:45～尾根筋登山道12:35～鉢伏山山頂13:00/10～中腹リフト下13:25～交流センター駐車場14:00

★9/23 起床5:00 // 東尾根登山口7:00～東尾根避難小屋7:30～一ノ谷休憩所8:07/15～神大ヒュッテ9:00/10～氷ノ山山頂避難小屋9:40/10:00～氷ノ山越避難小屋11:00/30(昼食)～地藏堂12:20～奈良尾登山口13:10

初めてのテント泊山行。宝塚付近で発生した事故渋滞のためハチ高原到着が遅れたが、グレンデの栗の木の下で昼食を済ませ、鉢伏山を目指す。オリエンテーリング中の中学生といっしょに藪の中を1時間近く悪戦苦闘。到達した尾根筋からの眺めは、南側は晴れ、北側は曇りとくっきりと対照的。見るところ北の雲が南に攻め込んでおり、明日の天候を予見させるものであった。山頂から見通せるのも南だけ。雲にかすむ北側をバックに集合写真を撮って下山開始。下りは上級者用グレンデの急斜面を直降。登山道はないが藪は刈られており、斜面を大きく使ってジグザグに下る。途中の木やリフトの支柱には激突防止用ウレタン緩衝材が巻いてあり、ここはスキー場であることを実感。

東尾根キャンプ場では、先輩の皆さんの手際よいテント組み立てを手伝う。学生時代に使っていた支柱のある家型テントやオートキャンプ用テントと違い、今のドーム型テントは組み立てやすく、思った以上に広い。夜食は、女性の皆さんが準備して下さった鍋料理に舌鼓。会長の歌や話で盛り上がったが、雨が降り出し、自然とお開き。テントに入ると30秒で眠りについた。



夜中テントを打つ雨音に何度か目が覚め、明日はダメかなあとと思いながら朝を迎えた。しかし、天の気まぐれか起床した 5:00 には雨が上がっており、濡れたテントを撤収、朝食を済ませ予定通り東尾根登山口から氷ノ山を目指して 7:00 に登山開始。東尾根避難小屋、一ノ谷休憩所と空は何とか持ちこたえ、途中の休憩地点で振り返ったときに見えた雲海がとても印象的だった。しかし、神大ヒュッテ到達直前からついに降り出す。私にとって山行でのレインウェア初使用。氷ノ山山頂では雨の中での記念撮影となった。下山中、雨は一時的に上がったものの、奈良尾登山口に到着するまで雨具を離せない 1 日となった。

入会后初のテント泊山行は私にとっては「雨もまた楽し」でした。しかし、悪天候の中での状況判断から濡れたテントの後始末まで、リーダーの多賀さん、どうも有難うございました。

(亀高 茂)



例会山行2

大峰の山 《笠捨山》 1,352m

【日 程】2012年10月7日(日) 晴れ

【参加者】L内田・島崎・多賀・藤井・勝尾・橋本・杉川・亀高(8名)

【コースタイム】行仙荷揚げ登山口 9:10→→9:45 行仙小屋 9:55→→11:32 笠捨山 12:30→→14:00 行仙小屋 14:10→→14:40 行仙荷揚げ登山口

台風で、一週間延期での山行となりました。途中、自転車レースに遭遇し、何十台という自転車を道のセンターを越して、追い越し大変でした。

ネットで調べても、一般的には白谷トンネル東口からの登山しか出てきませんが、新しい地図にははっきりと、記載された今回の荷揚げ道、多分最近になって、上の行仙小屋に荷物を上げるのに整備された道なのでしょう。かなりのショートカットとなりました。

40分ほどで行仙小屋に着きました。さすがに、世界遺産大峰奥駆道、こんな山奥で至れり尽くせりの行仙小屋、さあここからが本番、アップダウンは厳しかったですが比較的低い山の割には自然林の気持ちのいい道、途中、90°に曲がったブナの大木や倒木の上に根付いて大きくなった別の木、人の手の入っていない山の深さ、を感じました

最後 1246m ピークの後、笠捨に登り返す、急登は半端ではなく、やっとのことで西峰につきました。北に見える、釈迦、八経、いかに遠くへ来たかが実感できるはるかかなたの大普賢、もう、1時間近くも昼休憩をとり、反射板があるだけの隣の、東峰により、帰路は同じ道を、こんな急なとこ登ったのかと帰り道に思いました。

2時には行仙小屋に着き、2:40分にやっと登山口、それでも上牧には6:30頃の帰りとなり日の短い折、このコースで良かったと思う山行でした、私の百遊山も残すところあとひとつです。

(内田 美由紀)

例会山行1

東北の山 《栗駒山・蔵王連峰》

【日 程】2012年10月12日（金）～15日（月）

【参加者】L島崎・村田・阪口・高田・勝尾（5名）

10/12

【コースタイム】須川温泉到着(11:50)→登山口にて昼食(12:15/35)→自然観察路分岐(13:00)→昭和湖(13:30)→分岐(14:00)→登山口(14:30)

一関から見る栗駒山の頂には雲が掛っていた。晴れるように祈りながら、タクシーで須川温泉に向かう。タクシーの運転手さんは、アルプスや主だった山はすべて踏破し、今は溪流釣りに熱心で、ガイドの資格を持っているという方で、色々と話を聞きながら進む。あの地すべりも中越地震の爪跡ですと運転手さん。あちこちの山肌に地すべりの跡が見られる。谷を結ぶ大きな橋が、真ん中から折れ曲がっていた。須川温泉に到着後、風を避けてホテルの横で食事を済ませ、登山開始。登山口は、溶岩の中を温泉が流れ、湯煙が立っている。登山道でも所々地面の小さな穴から、イオウ臭のする蒸気が出ていた。20分程登ると名残ヶ原湿原に着いた。青空の下、美しく色づいた木々の中、湿原の木道の先に、秋色に染まった栗駒山が全容を現し、その右手には、剣岳の切り立った岩山が雄雄しい。この時は山頂での素晴らしい眺望を疑わなかったが……。午前中に登頂を済ませた人々が列を成して下山してくる中、挨拶を交わし譲り合いながら、地獄谷（硫化水素が出ているので、近づくると危険な所）の辺りまで登って行くと、段々雲行きが怪しくなりポツポツと雨が降り出してきた。山頂も雲の中で見えない。そして、谷を過ぎた昭和湖（昭和19年の噴火で出来た）では、ますます風雨が強まり、残念ながら下山する事になった。



10/13

【コースタイム】須川温泉(5:30)→自然観察路分岐(5:50)→昭和湖(6:20)  
→賽の走り(6:35)→昭和湖(6:50)→須川温泉(7:35)

今日は蔵王温泉への移動日だが、昨日のリベンジで、4時半に起床、5時出発と決めていた。朝目覚めると、外は台風並みの風の音が聞こえる。これではもう中止だろうと、起きる気になれず寝ていたが・・・。Sさんは星が出ているので行けると判断され、もうすでに出発準備は出来ていた。私達4人は慌てて準備をし、30分遅れで出発となった。外は風も治まっていて、朝の清しい空気に気分が良い。昨日と同じ道を登ったが、期待虚しく又途中で雨になり、昭和湖から天狗平への登りの途中で引き返した。食事後、予定通り9時のバスで移動する。雨は山の上だけで、下界は良いお天気だった。一関で毛越寺と中尊寺を、昨日の運転手さんに案内してもらい、次の蔵王温泉に向かった。

10/14

【コースタイム】刈田峠(8:35)→前山(9:20)→杉ヶ峰(9:40)→芝草平(10:00)→分岐(10:25)→屏風岳(10:50)→分岐(11:00)→南屏風岳(11:25/30)→屏風岳(12:00/20)→分岐(12:40)→芝草平(12:55)→杉ヶ峰(13:15)→前山(13:35)→刈田峠(14:15)→刈田岳(14:45)→熊野岳(15:40)→地蔵山ロープウェイ(16:20)

今日は打って変わって快晴となる。タクシーで刈田峠へ。そこから、樹林帯の中の道に行く。前山までの登りの途中で振り返ると、山腹にジグザグの車道が付いた刈田岳、その後にお釜の一部、そしてその後今日の最終到着地である熊野岳が見える。遠くの山並みも幾重にも重なり美しい。前山から杉ヶ峰へ登り芝草平の湿原へ下る途中で、八甲田を思わせる風景に出会った。草紅葉の湿原の後方、山裾に広がるアオモリトドマツの原生林とハイマツの緑の中に、紅葉した木々が混ざっている様はなぜか心に沁みだ。芝草平から緩い登りで広い山頂の屏風岳に着いた。予定では此处までだったが、この先の稜線歩きの展望が良いのと、時間的にも余裕があるので、南屏風岳まで足を伸ばす事になった。30分程の距離だ。全山紅葉した水引入道と馬の神岳が左手下方に見える。南屏風岳には大勢の人々が昼食を摂っていた。私達は

屏風岳に戻り昼食にする。風も無く良いお天気なので、じっとしていても寒くはなかった。昼食後、刈田峠まで同じ道を引き返す。刈田峠からのジグザグの車道を、何回も横切りながらの直登は厳しかったが、車が親切に止まって通してくれる「小さな親切」に心が和む。刈田神社のある山頂からお釜の辺りまでは、大勢の観光客で賑わっている。荒涼とした馬の背を急ぎ足で過ぎ、最後の頑張りで熊野岳に到着。風が強く寒い。写真を撮り、早々に退散。ゴロゴロの溶岩の岩場を慎重に下り、蔵王山頂ロープウェイ駅までの木道を急いだ。

10/15

【コースタイム】地蔵山ロープウェイ(9:10)→三宝荒神山(9:20)→地蔵山(9:45)→ワサ小屋跡(10:00)→御田神(10:30)→いろは沼(11:00)→黒姫山(11:30/12:00)→観松平(12:15/30)→ホテル(13:20)

今日は低山の四郎・五郎岳の予定だったが、昨日のロープウェイからの眺めではまだ紅葉が早いので、ロープウェイで山頂駅まで行き、紅葉の綺麗な祓川コースに行くことに変更する。ロープウェイが昇るにつれ厚い雲の中へ入っていき、山頂駅に着くと小雨が降っていた。その雨も地蔵山辺りで止んだが、周りは雲で見えない。ワサ小屋跡から祓川コースを下る。御田神の近くで、測量している2人に会っただけの静かなコースだ。いろは沼では何組かの2人連れに出会う。段々霧も晴れ出し、黒姫山の展望台からは近くの山々の紅葉が綺麗だった。観松平からは、傾斜の急なスキー場の長いグレンデをひたすら下って、ホテルに着いた。

(勝尾 栄美子)



例会山行1

大峰の山 《大普賢岳》1,779.9m

【日 程】2012年10月21日(日) 快晴

【参加者】L 藤本・S L 島崎・今井・内田・勝尾・亀高・阪口・多賀・辻・的場(10名)

【コースタイム】水太登山口(8:04)～水簾ノ滝(8:25/30)～底無井戸(9:16)～岩本新道分岐(9:34/41)～鷲ノ窟(10:10/18)～日本岳の科尔(10:27)～石ノ鼻(10:44/48)～小普賢岳(10:54/58)～奥駈道出合(11:34)～▲大普賢岳〔昼食〕(11:41/12:17)～奥駈道出合(12:21)～小普賢岳(12:49/54)～石ノ鼻(12:59/13:05)～日本岳の科尔(13:12)～鷲ノ窟(13:20/31)～岩本新道分岐(13:51/54)～底無井戸(14:14)～水簾ノ滝(14:54/15:01)～水太登山口(15:20)

行者還林道(国道309号)から分かれて落石の多い水太林道をだらだらと登り、道が大きく右へ曲がるあたり、無双洞より下る流れをまたぐ橋が今日の登山口だ。日帰りで大普賢から七曜岳、無双洞をひとまわりするためにはここから入山するのが最も速い。

まずは沢沿いの滑りやすい踏み跡を20分程度進むと水簾ノ滝。今回はそこから反時計回りで大普賢岳を目指す。途中、底無井戸の手前に、鎖や鉄アングルの連続するコース一番の難所がある。この部分を下りで通りたくない、そしてまだ疲労していない午前中に通過したい、そう考えて左回りを選んだ。実際なんら問題なくこの難所は通過。一気に高度を稼いだあとは、緩やかな道が続く。やがて和佐又ヒュッテからの道と出会い、岩本新道をへて鷲の窟に到着、10時10分だ。計画より10分遅い。が、実は25分ほど早く登山口を出発していた。つまり半時間強余計にかかったことになる。このコースはタイムデータが乏しく、どうやら少し読み違えてしまったようだ。

ともあれ先へ進もう！日本岳の科尔で尾根筋へ上がると、次第に展望がひらけ、鉄梯子を上るしんどさを慰めてくれる。石の鼻の岩場に立てば、東に

大台、北に伯母峰の山並み、そして向かう先には、奥駈道を擁する主稜線の絶壁が錦に彩られている。背景は紺碧の空。

小普賢岳の肩で小休止ののち、一度鞍部へ下ってよいよ大普賢への最後の登り。鉄の階段や橋が続く。駈けあがってきた子供たちに道を譲りつつ——「歳」を実感する悔しいひととき——、喘ぎながらようやく奥駈道に合流。にわかに鮮やかさを増すあたりの紅葉に励まされ、さらに登ること数分で1779.9m(新しい地形図では1780.1m)の山頂に立つ。これまで幾たびもこの頂を踏んだものの、こんな素晴らしい天候に恵まれた記憶はない。行者還へと続く南の尾根の遥か彼方に弥山、そこから先だけ突き出た八経ヶ岳、北西の尾根を辿れば、山上ヶ岳から大日のキレットを従えた稲村ヶ岳、さらに西のバリゴヤノ頭へと続くパノラマ。もっとも、正午前とあって狭い山頂はかなりの混雑。展望のよい場所はすでにふさがっていたが、それぞれ腰をおろして昼食をとる。

山頂到着は予定より10分遅れ。ということは、すでに40分以上余計にかかっている。この先、かなりの高低差がある尾根道と、無双洞への急下降のことも考え、思い切って来た道を引き返すこととした。せっかくのこの好天、七曜岳からの絶景を味わえないのは心残りだが・・・。

気持ちに余裕もできて、下りは至って順調。恐れていた例の鎖場も、皆それぞれが慎重かつ着実にこなして下りきった(私はそれでも怖かったけれど・・・)。何度かの休憩をはさみながら、登山口へは予定の10分前に到着。計画通り一周していたら、あと半時間乃至一時間は余計にかかったのではないだろうか。

-----

毎度のようにコース変更をするリーダーに、文句も言わず従ってくださった皆様に感謝します。また、落石だらけの酷道・険道と承知で、車を出してくださるドライバーの方々には、お礼の言葉を知りません。そのおかげで、わが会の山行が豊かになっているのは、疑う余地のないことです。頓首

(藤本 武司)



# 室内例会だより

【日 時】2012年9月26日(水) 19:30~20:50 事務所

【出席者】島崎、林、内田、藤本、三島、村田、多賀、田中(悦)、田中(初)、藤井、  
辻、勝尾、高橋、的場、阪口、今井、亀高、塚本、武本、都築

## 1. 山行案内

10月12日(金)~15日(月) 例会山行1 東北の山(栗駒山・蔵王連峰) L 島崎

10月21日(日) 例会山行 大峰の山(大普賢岳) L 藤本

10月28日(日) 登山バス 奥高野(伯母子岳) L 辻

JR王寺駅南口ヤオヒコ前午前6時30分出発

交通費 会員3,000円、一般3,500円

9月30日(日) 例会山行2 大峰の山(笠捨山) L 内田

(台風のため10月7日に変更)

## 2. 山行報告

8月26日(日) 例会山行2 大峰の山(前鬼不動七重ノ滝) L 都築 14名

9月2日(日) 例会山行1(県連広域搜索訓練) 台高の山(高見山北尾根) L 藤本 1  
2名

9月8日(土) 自主山行(ハイキングリーダー学校OB会山行) 大峰の山<<百合ヶ  
岳(大所山)>> L 藤本、藤井、中武(奈良労山)

9月17日(月・祝) 女性部山行 宇陀の山(三郎ヶ岳) L 村田 9名

## 3. 連絡その他

### ・県連より報告

第22回チャレンジハイク 9月30日(日) 鳥見山(宇陀市鳥見山公園散策)  
(台風により中止)

近畿ブロック女性委員交流会 11月3日(土)~4日(日) 金剛山  
近鉄御所駅午前9時集合(各会女性委員対象)

広域搜索訓練 9月2日(日) 高見山北尾根周辺 西大和から12名の参加  
ちびっこ隊山遊び 10月28日(日) 矢田山子供の森

第16回全国登山者自然保護集会 11月17日~18日 高槻現代劇場

登山と法律講演会 10月27日(土)14~17時 阿倍野市民学習センター講堂

・県連交流山行は中止となったが各会に意見を聞きたいとのことで、島崎会長からハイキングリーダー学校の生徒がすることと各会の交流にはそれなりの意義があるという意見だった。

・武本奈津枝さんが入会されました。

(都築 周作)

第 365 号 (2012 年 11 月号)

# 西大和つうしん

2012年 10 月 31 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>